

せいれいこうりんごだい
聖霊降臨後第11 主日(特定14)

とくとう
特祷

えいえん ぜんのう かみ
永遠にいます全能の神よ、わたしたちに信仰と
のぞ あい ま くわ
望みと愛とを増し加え、またあなたが約束して
くだ え
下さるものを得るためにあなたが命ぜられるこ
とをあい くだ
とを愛させて下さい。

しゅ ねが
主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン

《旧約聖書》

しよ
ヨナ書

第2章 2節から10節

さかな はら なか じぶん かみ しゅ
2 ヨナは魚の腹の中から自分の神、主に
いの
祈りをささげて、3 言った。

くなん なか さけ
苦難の中で、わたしが叫ぶと

しゅ こた
主は答えてくださった。

よみ そこ たす もと
陰府の底から、助けを求めると

こえ さ
わたしの声を聞いてくださった。

ふか うみ な こ
4 あなたは、わたしを深い海に投げ込まれた。

しお なが
潮の流れがわたしを巻き込み
なみ なみ
波また波がわたしの上を越えて行く。

おも
5 わたしは思った

みまえ ついほう
あなたの御前から追放されたのだと。

い ふた た せい しん でん み
生きて再び聖なる神殿を見ることがあろうか
と。

おおみず おそ のど たつ
6 大水がわたしを襲って喉に達する。

しんえん の こ みずくさ あたま から
深淵に呑み込まれ、水草が頭に絡みつく。

やまやま もと い ち
7 わたしは山々の基まで、地の底まで沈み

ち うえ えいきゅう とびら と
地はわたしの上に永久に扉を閉ざす。

かみ しゅ
しかし、わが神、主よ

いのち
あなたは命を

ほろ あな ひ あ
滅びの穴から引き上げてくださった。

いき た
8 息絶えようとするとき

しゅ みな とな
わたしは主の御名を唱えた。

いの とど
わたしの祈りがあなたに届き

せい しん でん たつ
聖なる神殿に達した。

いつわ かみがみ したが もの
9 偽りの神々に従う者たちが

ちゆうせつ す ざ
忠節を捨て去ろうとも

かんしゃ こえ
10 わたしは感謝の声をあげ

いけにえをささげて、誓ったことを果たそう
救いは、主にこそある。

《福音書》

マタイによる福音書

第14章 22節から33節

《使徒書》

ローマの信徒への手紙

第9章 1節から5節

1 わたしはキリストに結ばれた者として真実に
を語り、偽りは言わない。わたしの良心も聖霊
によって証ししていることですが、2 わたしに
は深い悲しみがああり、わたしの心には絶え間な
い痛みがあります。わたし自身、兄弟たち、つ
まり肉による同胞のためならば、キリストから
離され、神から見捨てられた者となってもよい
とさえ思っています。4 彼らはイスラエルの民
です。神の子としての身分、栄光、契約、律法、
礼拝、約束は彼らのものです。5 先祖たちも
彼らのものであり、肉によればキリストも彼ら
から出られたのです。
キリストは、万物の上におられる、永遠にほめ
たたえられる神、アーメン。

22 それからすぐ、イエスは弟子たちを強いて
舟に乗せ、向こう岸へ先に行かせ、その間に
群衆を解散させられた。23 群衆を解散させて
から、祈るためにひとり山にお登りになった。
夕方になっても、ただひとりそこにおられた。
24 ところが、舟は既に陸から何スタディオンか
離れており、逆風のために波に悩まされていた。
25 夜が明けころ、イエスは湖の上を歩いて
弟子たちのところに行かれた。26 弟子たちは、
イエスが湖上を歩いておられるのを見て、「幽霊
だ」と言っておびえ、恐怖のあまり叫び声をあ
げた。27 イエスはすぐ彼らに話しかけられた。
「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない。」
28 すると、ペトロが答えた。「主よ、あなたで
したら、わたしに命令して、水の上を歩いてそ
ちらに行かせてください。」29 イエスが
「来なさい」と言われたので、ペトロは舟から

降りて水の^{みず}上^{うへ}を歩^{ある}き、イエスの方^{ほう}へ進^{すす}んだ。

30 しかし、強い風^{つよ かせ}に気^きがついて怖^{こわ}くなり、

沈^{しず}みかけたので、「主^{しゅ}よ、助^{たす}けてください」と

叫^{さけ}んだ。

31 イエスはすぐ^{すぐ}に手^てを伸^のばして捕^{つか}まえ、「信^{しんこう}仰

の薄^{うす}い者^{もの}よ、なぜ疑^{うたが}ったのか」と言^いわれた。

32 そして、二人^{ふたり}が舟^{ふね}に乗り込^{のこ}むと、風^{かせ}は

静^{しず}まった。33 舟^{ふね}の中^{なか}にいた人^{ひと}たちは、「本^{ほん}当^{とう}に、

あなた^{あなた}は神^{かみ}の子^こです」と言^いってイエス^{イエス}を拝^{おが}んだ。

「詩編」については週報をご覧ください。

2020 年 8 月 9 日

信徒作成

詩編第29編 1節-10節（全節） 祈禱書700頁

皆様は太字の節を唱えてください。

Ⅱ の後の言葉は、一呼吸おいてからよみましょう。

1. 神の子らよ、主をほめよ Ⅱ 栄えと力は主のもの

2. 神の名をほめたたえよ Ⅱ 聖なる装いをもって主を拝め

3. 主の声は水の上に Ⅱ 主は大水の上に雷鳴をとどろかせる

4. 主の声には力があり Ⅱ その響きには威厳がある

5. 主の声は杉の木を撃ち Ⅱ 主はレバノンの杉を引き裂く

6. 神の声はレバノンを子牛のように Ⅱ シリオンを野牛のように踊らせる

7. 主の声は稲妻を放ち Ⅱ 荒れ野を震わせ、カデシの荒れ野をおびえさせる

8. 主の声はかしの木をねじり倒し、森の木々を裸にする Ⅱ すべてのものは神の住まいでその栄光をたたえる

9. 主は大水の上に座り Ⅱ 主はとこしえに王座に着かれる

10. 主はその民に力を与え Ⅱ 平和をもって祝福される